

日本学術会議 生活習慣病対策分科会（25期・第3回）議事録

日時 令和5年3月29日（水）16：30～18：30

場所 ビデオ会議（ZOOM）

出席者：磯 博康（副委員長）、宮地元彦、安村誠司、秋葉澄伯、浅野みどり、池田彩子、井上真奈美、小熊祐子（幹事、記録）、香美祥二、郡山千早（幹事）、児玉浩子、永田知里、錦織 宏、八谷 寛（委員長）

欠席 那須民江、中山健夫

事務局 作本明日香

議題

(1) リスク教育に係る見解について

見解の審議に加わっている各分科会から選出されたメンバーで構成されているリスク教育ワーキンググループに、本分科会から参加している郡山委員（幹事）から、見解の概要と、メール審議において本分科会から提出された意見に対する対応状況について説明があり、議論を行った。メール審議に引き続き、数点の追加意見があがり、再度ワーキンググループに伝え、可能であれば検討を求めることとした。そのうえで、2023年3月29日時点での見解案についても承認することとし、今後の修正については郡山委員に一任された。

(2) 市民公開シンポジウム「幼小児期・若年世代からの生活習慣病予防」のまとめ

シンポジウムの座長を務めた八谷委員長より、第24期提言を受けて企画されたシンポジウムの概要と開催後に参加者を対象に実施したアンケート調査結果に基づくまとめの報告があった。また、日本健康教育学会のHPにおいて記録動画が継続して公開されていることの報告があった（<https://nkkq.eiyo.ac.jp/doga.html>）。提言に関し、対象とした省庁等における中長期的なフォローアップの実施が提案され、検討することとした。

(3) 医学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)について

第24期提言を受け、本分科会として医学教育モデル・コア・カリキュラム改訂のためのワーキンググループに提出した意見内容と実際のコアカリ内容（項目や達成目標の段階：https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/116/toushin/mext_01280.html）を対比しながら、改訂の結果について確認した。個々の項目に加え、具体的な教育内容についての専門家の関与や、教育の方略、学生評価や成果の評価について意見交換した。

(4) 来期での本分科会の活動について

各委員が、生活習慣病予防・対策に関し、意見の表出が必要と考える内容について意見交換を行った。多職種が連携した生活習慣病予防に資する卒前・卒後教育のあり方等の意見交

換結果をまとめ、分科会内で共有するとともに、来期の設置提案書や分科会横断的また各部も連携した活動方針に繋げていくことが確認された。

(5) その他

令和5年度（第25期中）に分科会を開催することとした。